

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 南伊勢町	対談項目1 廃船の処理に係る新たな支援制度の創出について		<ul style="list-style-type: none"> ・南伊勢町では平成になって漁業従事者が半減しており、そのため、現在では162席の廃船が放置されている状況となっています。 ・国において廃船処理支援制度はあるものの、1漁港あたり20隻以上の処理が要件となっているため、小さな漁港が多くある南伊勢町ではこの制度を活用できません。 ・県において、新たな廃船処理支援制度の創出をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内16漁港のうち、迫間浦、相賀浦、古和浦については、国の処理基準を満たすため、補助が受けられるか、県も一緒に取り組んでいきたいと思っています。 ・他市町において独自で廃船をしたところもありますので、県の補助制度の創出については難しい状況です。 ・20隻未満の漁港については、例えば、漁協単位などまとめて20隻あれば補助が受けられる等、補助制度の拡充について、国への働きかけを一緒にさせていただければと思います。
2 南伊勢町	対談項目2 南伊勢町バイオマス発電事業と6次産業化に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス発電事業の指導への支援 ・6次産業化を含めた産業振興の取り組みへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス発電事業と6次産業化について、今年8月、農林水産省の調査事業の採択を受けました。 ・家庭の生ごみや魚の残さ等を資源として活用し、メタン発電事業をやっていききたいと思っています。 ・この発電事業の利益を、産業振興に使う等、町内の発展につなげていききたいと思っています。 ・メタンガス発電の副産物として液肥が残るため、これを利用して農業の活性化を進めていききたいと思っています。 ・国に提出しているバイオマス産業都市構想が認められれば、様々な事業を行っていくことができるため、県のご指導をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギーの中でも、バイオマス発電は人手がかかるため、雇用の場が生まれることから、県としても力を入れて取り組んでいきたいと思っています。南伊勢町のバイオマス産業都市構想についても支援をしていきます。 ・平成24年度から、鳥羽志摩地域において、ホテル等から出た事業系のごみでメタン発酵発電事業について関係者と検討を進めており、その結果について情報提供をして参考にさせていただきたいと思っています。 ・バイオマス産業都市構想を進めるにあたり、アクションプランの策定についても「新エネルギーまちづくり促進事業費補助金」が活用できるので、サポートさせていただきたいと思っています。 ・6次産業化については、「三重県6次産業化サポートセンター」を設置しているので、ご活用ください。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 南伊勢町	対談項目3 国道260号の整備および幹線道路にアクセスする県道の整備について	国道260号の未改良区間等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・船越地区は、集落地内でありながら、大型車両が通り、通学路にもなっているため、非常に危険な道路となっています。高規格の防災道路として整備されれば、堤防よりも津波に効果的になる可能性もありますので、整備をお願いします。 ・三ツ坂峠はカーブが多く、大型車がセンターラインを越えて走行する等対向が困難となっています。安全な道路に整備をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船越地区については、地元の意向も踏まえ、地震津波災害に強い強靱な構造となるよう、道路の構造について配慮し、道路整備が地域の減災対策の一助となればと考えています。 ・今年度は調査設計を予定していますので、引き続きご協力をお願いします。 ・三ツ坂峠は一次改良も済んでいることから、抜本的な改良は困難ですが、カーブ区間の部分的な対応については検討していきたいと思っています。
		幹線道路にアクセスする県道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・くしの歯作戦と呼ばれる町外へアクセスする道路整備が課題となっています。 ・町外へアクセスする南島大宮大台線の整備をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南島大宮大台線は急峻な地形であり、延長も長いことから、整備に費用がかかるため、将来的な課題として議論していきたいと思っています。 ・まずは、260号の整備をしっかりとやっていきたいと思っています。

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 南伊勢町	対談項目4 南部地域活性化について	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢松阪の近隣でありながら、南伊勢町や大紀町、度会町等は産業の低迷や過疎地域となって、町の活性化を図れない状況にあります。 ・そのような中、平成24年に県は南部地域活性化局を作り、我々の難しい課題について、広域で解決すべく、真剣に取り組んでいただいています。 ・ただ、若者の町外流出、少子高齢化、産業の低迷、南海トラフ地震の脅威等、払拭できない課題があります。 ・知事の南部地域に対する思い、今後の取組予定等をお聞かせください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南伊勢町では「若者定住対策係」を設置し、危機感を持って取り組んでいただいていることに感謝しています。 ・平成24年度に南部地域活性化局を設置し、併せて南部地域活性化基金を作り、これを財源に様々な取組をしています。 ・三重県では、18歳、22歳の進学や就職期の人口が転出超となっており、これで人口減に拍車がかかってしまっています。 ・県としては、学ぶ場を増やしたり、魅力を向上させることと、働く場を作ることにより、今年度から集中して議論をしています。 ・また少子化対策についても、昨年度から重点をおいて取り組んでいます。